

はじめに

日本機械学会関東支部第 20 期

神奈川ブロック長 松本裕昭

本日は、一般社団法人日本機械学会関東支部神奈川ブロック第 20 期総会、ならびに第 24 回神奈川県産学官交流会にご参加くださりまして、誠にありがとうございます。関東支部ならびに神奈川ブロックは、今年で創設 20 年を迎えました。これを記念して、今期の神奈川ブロック総会ならびに産学官交流会は横浜ベイシェラトンホテル&タワーズにおいて開催する運びになりました。神奈川県産学官交流会は、神奈川ブロックが創設される 4 年前の、1990 年から続く当ブロックの中心的な行事で、神奈川県下の企業、大学、研究所等の機械工学に関連した研究者、技術者の情報交換と交流の場として多くの方にご参加頂いています。

神奈川ブロックでは創設以来、産学官交流会の他に、時代の状況に応じたテーマを設け、意見交換・討論を行う神奈川フォーラムや企業の最先端技術の紹介を兼ねた企業見学会等を開催してまいりました。また、大学生・大学院生の相互交流や学生と企業の技術者・研究者との交流を目的とした見学会や研修会の他、小中高生を対象とした見学会、小中学生のための夏休み工作教室なども開催し、これからの日本の工学分野を支える若い世代に対して、機械工学の分野が果たす役割や、ものづくりの楽しさ、重要性を伝えることなどの活動にも力を入れて来ています。

これら、神奈川ブロックで企画、実施するイベントは、ブロック運営委員会のご尽力と、神奈川ブロックの商議員をはじめ、機械学会の会員の皆様のご支援とご協力によるものです。歴代のブロック運営委員の皆様、並びに商議員の皆様、機械学会会員の皆様に深く感謝申し上げます。

これから先、神奈川ブロックの活動が更に活発になり、大きく発展していくために、今後とも、日本機械学会神奈川ブロックの活動にご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

神奈川ブロック創立20周年記念  
2012年度 神奈川ブロック総会  
第24回 神奈川県産官学交流会の開催にあたって

日本機械学会関東支部  
第20期支部長 中村 春夫

神奈川ブロックの皆様には本年度も地域密着型の活動ならびに社会に貢献する活動を展開していただき、ここに関東支部を代表して厚く御礼を申し上げます。

関東支部は、日本機械学会の会員の40%に相当する1万5千人が所属し、法人会員（特別員）の半分以上の52%が所属する大きな組織であり、会員および地域住民の科学技術への関心を高めることがその大きな目的です。このため、支部全体としての活動のほかに、関東地方1都6県に山梨県を加えた8つのブロックに分かれて、地域に密着した活動が展開されています。

関東支部の中核を担っていただいています神奈川ブロックでは、小中高生のための見学会、一般市民公開の「神奈川フォーラム」、小中学生向けの「小中学生工作教室～スターリングエンジンの製作～」、県内学生会の活動支援の「学生会夏期研修会」、本日開催の「神奈川県産官学交流会」、さらには会員向けの「企業見学会」や「高校教員との意見交換会」など、さまざまなイベントを企画して活発な活動をしていただいております。重ねて感謝申し上げます。

工学・工業で扱う、こうやればこうなるという因果論に基づく理論解や、それとは逆方向の、こういう風に良くしたいという目的論の最適解は事実上そう多くはありません。しかし、「因果論も目的論もしょせんは現在完了・過去完了の世界であって、我々の生きている世界は現在形である」、と約百年前言われ始めて以来、因果論・目的論を踏まえて、なおかつそれを超えるような論理体系が多く現れ始めてきています。混迷する現代にあって、松下幸之助氏や土光敏夫氏が説かれた「日々新たに（経営のやり方は無限にある）」という言葉も、過去形ではなく無限の創造可能性がある現在形を直視して前向きに・積極的に生きよ、という激励の言葉でしょう。本日開催の産官学交流会は神奈川県内の様々な企業、行政機関、さらに大学・公的研究機関が一堂に会して、新たな創造的局面を作り出す交流の場として企画されています。「日々を旅する人であれ、日々逗留するべからず」という格言がありますように、古来、出会いとは無限なる創造性発現の契機です。この会が参加各位の「科学技術創造立国」に向けて実り多き出会いの場となればと、期待しております。

最後になりましたが、神奈川ブロックならびに神奈川ブロックの皆様の、ますますのご発展を祈念申し上げます。

**日本機械学会 関東支部**  
**第20期 神奈川ブロック商議員**

〔☆：ブロック長〕

No.	氏名	勤務先	職名
1	荒木 拓人	横浜国立大学 大学院工学研究院 システムの創生部門	准教授
2	伊藤 裕昌	三菱重工業(株) 横浜製作所 管理部業務課	主席部員
3	植田 利久	慶應義塾大学 大学院理工学研究科 開放環境科学専攻	教授
4	大石 進	青山学院大学 理工学部 機械創造工学科	教授
5	大野 英隆	湘南工科大学 工学部 工学科	准教授
6	尾崎 伸吾	横浜国立大学 大学院工学研究院	助教
7	金田 徹	関東学院大学 工学部 機械工学科	教授
8	加幡 安雄	(株)東芝 電力・社会システム技術開発センター 回転機器開発部	主管
9	川島 豪	神奈川工科大学 工学部 機械工学科	教授
10	河西 正彦	イースタン技研(株)	取締役社長
11	小机 わかえ	神奈川工科大学 工学部 機械工学科	教授
12	小林 健一	明治大学 理工学部 機械工学科	准教授
13	小茂鳥 潤	慶應義塾大学 理工学部 機械工学科	教授
14	榎田 均	元 東芝テクニカルサービスインターナショナル(株)	
15	佐藤 海二	東京工業大学 大学院総合理工学研究科 メカノマイクロ工学専攻	准教授
16	佐藤 博之	湘南工科大学 工学部 コンピュータデザイン学科	准教授
17	杉浦 壽彦	慶應義塾大学 理工学部 機械工学科	准教授
18	高橋 博	(株)東芝 研究開発センター	主任研究員
19	田口 謙太郎	(株)日立製作所 横浜研究所	主任研究員
20	辻森 淳	関東学院大学 工学部 機械工学科	教授
21	中西 裕二	神奈川大学 工学部 機械工学科	教授
22	中村 元	防衛大学校 機械工学科	教授
23	納富 充雄	明治大学 理工学部 機械工学科	教授
24	早房 敬祐	(株)荏原製作所 風水力機械カンパニー開発統括部 材料技術グループ	副参事
25	原村 嘉彦	神奈川大学 工学部 機械工学科	教授
26	前田 雄介	横浜国立大学 大学院工学研究院 システムの創生部門	准教授
27	松村 茂樹	東京工業大学 精密工学研究所	准教授
28	☆ 松本 裕昭	横浜国立大学 大学院工学研究院 システムの創生部門	教授
29	宮田 慎司	日本精工(株) 基盤技術研究所 機械研究室	室長
30	本井 久之	(株)IHI 基盤技術研究所 機械要素研究部	部長
31	森 康	三菱電機(株) 鎌倉製作所 品質保証部システム安全管理グループ	グループマネージャ
32	森下 達哉	東海大学 工学部 動力機械工学科	准教授
33	森田 寿郎	慶應義塾大学 理工学部 機械工学科	准教授
34	森山 裕幸	東海大学 工学部 動力機械工学科	教授
35	安田 誠	神奈川県産業技術センター	統括技術コーディネーター
36	山口 方士	(株)IHI 基盤技術研究所 熱・流体研究部	部長
37	山下 健一	(株)いすゞ中央研究所 エンジン研究第3部	主席研究員
38	渡邊 裕章	(一財)電力中央研究所 エネルギー技術研究所	主任研究員

日本機械学会 関東支部  
2013年度(第20期) 神奈川ブロック運営委員会委員

氏名	勤務先	所 属	職 名
荒木 拓人	横浜国立大学	大学院工学研究院	准教授
市川 和芳	(一財)電力中央研究所	エネルギー技術研究所<燃料改質工学領域>	上席研究員
伊藤 裕昌	三菱重工業(株)	原動機事業本部 企画管理部 本牧・金沢管理グループ	主席部員
伊東 圭昌	神奈川県産業技術センター	機械・材料技術部 機械計測チーム	主任研究員コーディネータ
大谷 利一	日産自動車(株)	総合研究所実験試作部	部長
大谷 俊博	湘南工科大学	工学部機械工学科	教授
奥住 宏	日産自動車(株)	総合研究所 研究企画部 グローバル研究マネジメントグループ	シニアエンジニア
河西 正彦	イースタン技研㈱	本 社	取締役社長
加幡 安雄	(株)東芝	電力・社会システム技術開発センター 回転機器開発部	主査
川島 豪	神奈川工科大学	工学部機械工学科	教授
佐藤 一樹	(株)荏原製作所	精密・電子カンパニー精密機器事業部精密機器技術室	主任研究員
佐藤 博之	湘南工科大学	大学院 工学研究科 機械工学専攻	准教授
杉浦 壽彦	慶應義塾大学	理工学部機械工学科	准教授
田中 慶一	株式会社ニコン	コアテクノロジーセンター プロセス機器開発部	主任研究員
辻森 淳	関東学院大学	工学部機械工学科	教授
額賀 一成	JFEエンジニアリング株式会社	産業機械本部	主幹
野々下 知泰	ネボン(株)	営業本部	部長
原村 嘉彦	神奈川大学	工学部機械工学科	教授
古市 浩朗	(株)日立製作所	横浜研究所生産技術研究センタ回路システム研究部	主任研究員
前田 雄介	横浜国立大学	大学院工学研究院	准教授
松本 裕昭	横浜国立大学	大学院工学研究院	教授
宮武 俊弘	関東学院大学	工学部機械工学科	教授
村田 良美	明治大学	理工学部機械工学科	准教授
森下 達哉	東海大学	工学部動力機械工学科	准教授
康井 義明	東海大学		名誉教授
山口 方士	(株)IHl	基盤技術研究所熱・流体研究部	部長
山田 浩之	三菱電機(株)	鎌倉製作所宇宙システム第一部企画管理課	専任
大石 進	青山学院大学	理工学部機械創造工学科	准教授
和田 晃	富士電機(株)	川崎工場 回転機部	主査
安田 誠*	神奈川県産業技術センター	技術支援推進部交流相談支援室	統括技術コーディネータ
大野 英隆**	湘南工科大学	工学部 機械工学科	准教授

\*特別員 \*\*オブサーバ

# 関東支部 第20期 支部役員

[支部運営会 構成員]

支 部 長 : 中 村 春 夫 [東京工業大学 教授]  
副 支 部 長 : 植 田 利 久 [慶應義塾大学 教授]

## [ 幹 事 ]

庶 務 幹 事 : 松 村 隆 [電気通信大学 准教授]  
                  荒 木 幹 也 [群馬大学 准教授]  
広 報 担 当 幹 事 : 齊 藤 卓 志 [東京工業大学 准教授]  
                  石 井 孝 明 [山梨大学 准教授]  
事 業 幹 事 : 高 橋 智 [首都大学東京 准教授]  
                  田 川 泰 敬 [東京農工大学 教授]  
学 生 会 担 当 幹 事 : 渡 邊 鉄 也 [埼玉大学 准教授]  
                  丸 山 真 一 [群馬大学 准教授]  
会 員 担 当 幹 事 : 山 口 和 幸 [(株)日立製作所 主任研究員]  
                  荒 木 稚 子 [埼玉大学 准教授]  
表 彰 担 当 幹 事 : 山 本 誠 [東京理科大学 教授]  
                  森 田 寿 郎 [慶應義塾大学 准教授]  
会 計 幹 事 : 榊 田 均 [東芝テクニカルサービス  
  インターナショナル(株) 主幹]  
                  山 下 進 [小山工業高等専門学校 准教授]  
監 事 : 帶 川 利 之 [東京大学 教授]  
                  木 内 龍 彦 [東洋エンジニアリング(株) フェロー]

## [ブロック長]

東 京 : 渡 邊 敏 幸 [(株)ブリヂストン フェロー]  
神 奈 川 : 松 本 裕 昭 [横浜国立大学 教授]  
埼 玉 : 趙 希 禄 [埼玉工業大学 教授]  
千 葉 : 佐 野 正 利 [千葉工業大学 教授]  
茨 城 : 渡 部 修 [筑波大学 教授]  
栃 木 : 古 澤 利 明 [帝京大学 教授]  
群 馬 : 石 間 経 章 [群馬大学 教授]  
山 梨 : 寺 田 英 嗣 [山梨大学 教授]

**日本機械学会 関東支部 [神奈川]ブロック  
2013年度(第20期)中間事業報告書**

〔自:2013年3月1日 至:2013年10月31日〕

開催年月日	会議・行事名	形態※	会場	会議事項(行事の場合はテーマ・講演数)	出席数
2013/3/6	第1回運営委委員会	主催	神奈川県産業技術センター	第20期行事企画	18
2013/5/16	第2回運営委委員会	主催	神奈川県産業技術センター	第20期行事企画	16
2013/7/26	第3回運営委委員会	主催	神奈川県産業技術センター	第20期行事企画	17
2013/7/25	小中高生見学会	主催	JFE スチール東日本製鉄所横浜港	迫力満点の製鉄工場と海からの港湾施設の見学・講演2件	55
2013/7/26	第18回神奈川フォーラム	主催	神奈川県産業技術センター	明日の人材を育てるために我々に何ができるか, 講演5件	33
2013/8/2	小中学生工作教室	主催	関東学院大学	スターリングエンジンの製作	52
2013/8/4	小中学生工作教室	主催	神奈川大学	スターリングエンジンの製作	88
2013/9/17	学生会夏期研修会	主催	株式会社IHI技術開発本部	株式会社IHI技術開発本部見学および若手技術者と機械系学生の交流会	23
2013/9/26	第4回運営委委員会	主催	神奈川県産業技術センター	第20期行事企画	18
2013/10/10	表彰委員会	主催	神奈川県産業技術センター	ブロック表彰選考委員会	4
<b>2013.11.01-2014.2.28 予定</b>					
2013/11/22	第5回運営委委員会	主催	横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ	第20期行事報告・企画	
2013/11/22	第20期商議員会	主催	横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ	第20期行事についての意見交換	
2013/11/22	第20期総会	主催	横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ	第20期行事についての中間報告, ロック賞の授与	
2013/11/22	第23回産官学交流会	主催	横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ	オープン・イノベーションを神奈川から	
2013/12/6	企業見学会	主催	千代田化工建設株式会社	千代田化工建設株式会社 子安リサーチパーク見学会	
2013/12/6	第6回運営委員会	主催	千代田化工建設株式会社	第20期行事報告・企画	
2014 予定	第7回運営委員会	主催	神奈川県産業技術センター	第20期, 21期行事報告・企画	

**第 23 回神奈川県産官学交流会**  
**「グローバル化の進む”ものづくり技術”への取組み」**  
**および**  
**神奈川ブロック総会**

産官学各界から最新の動向と展望の講演を通して、神奈川から発信する”ものづくり技術”を議論する機会を設けました。

企 画	関東支部 神奈川ブロック
開催日	2012年11月21日(水)13:00～18:00
会 場	(株)日立製作所 横浜研究所 (横浜市戸塚区吉田町 292, 戸塚駅から徒歩 10 分)

**プログラム**

【第一部】 神奈川ブロック総会

【第二部】 産官学交流会（講演会）

実行委員長挨拶 (株)日立製作所 横浜研究所 沢 真司

「神奈川県の中小企業海外展開支援と外国企業誘致施策」

神奈川県商工労働局 小坂橋 美絵子

「生産技術者の役割（と責任）に対する日欧の理解のギャップ」

横浜国立大学 Daniel Arturo HELLER

「小さな町工場の大きな夢」～宇宙開発の技術で欧州へ進出する～

(株)由紀精密 大坪 正人

「シミュレーションによる先進的製造技術」

(株)日立製作所 河野 務

\*施設見学 (株)日立製作所 横浜研究所展示室

【第三部】 神奈川ブロック表彰式・懇親会

**第23回神奈川県産官学交流会および神奈川ブロック総会  
「グローバル化の進むものづくり技術」への取り組み」  
実施報告書**

産官学交流会担当 (株)日立製作所 古市浩朗

1. 開催日 2012年11月21日(水) 13:00~18:15
2. 会場 (株)日立製作所 横浜研究所
3. 参加者 47名[一般名15名,学生3名,招待14名,商議員3名,運営委員12名]
4. プログラム
  - 【第一部】 第19期神奈川ブロック総会 13:00~13:20
    - (1) 挨拶  
神奈川ブロック長 横浜国立大学 松本 裕昭  
関東支部長 (株)IHI 小林 正生
    - (2) 神奈川ブロック活動報告  
神奈川ブロック長 横浜国立大学 松本 裕昭
  - 【第二部】 産官学交流会(講演会) 13:20~16:40
    - (1) 実行委員長挨拶  
(株)日立製作所 横浜研究所 沢 真司、13:20~13:30
    - (2) 講演会、13:30~15:35
      - 「神奈川県の中企業海外展開支援と外国企業誘致施策」  
神奈川県商工労働局 小坂橋 美絵子
      - 「生産技術者の役割(と責任)に対する日欧の理解のギャップ」  
横浜国立大学 Daniel Arturo HELLER
      - 「小さな町工場の大きな夢」~宇宙開発の技術で欧州へ進出する~  
(株)由紀精密 大坪 正人
      - 「シミュレーションによる先進的製造技術」  
(株)日立製作所 河野 務
    - (3) 施設見学(参加者を2班に分けて引率)、15:35~16:40
      - ・(株)日立製作所 横浜研究所展示室の常設パネル(AFM、組立ナビ)説明
      - ・(株)日立製作所 情報通信システム社のエコオフィス紹介ビデオ上映
      - ・(株)日立製作所 情報通信システム社のデジタル絵画紹介
  - 【第二部】 神奈川ブロック表彰式・懇親会、16:40~18:15
    - (1) 挨拶 神奈川ブロック長 横浜国立大学 松本 裕昭
    - (2) 神奈川ブロック表彰の贈賞
      - (2-1) 感謝状
        - ・神奈川県産業技術センター(ブロック活動)
        - ・(株)ニコン(夏休み学生研修会)
        - ・(株)日立製作所 横浜研究所(産官学交流会)
      - (2-2) 技術賞
        - ・(株)由紀精密「航空用複雑形状部品の高精度切削加工技術」
        - ・(株)ブルー・スター R&D「超音波バリ取り装置」
      - (2-3) 功績賞
        - ・加幡 安雄 様(東芝):長年に亘りブロックの運営に貢献
        - ・野々下 知泰 様(ネボン):長年に亘りブロックの運営に貢献
        - ・下田 博一 先生(明治大):17、18期のブロック長として貢献
    - (3) 懇親会
5. 総括
  - (1) 前記プログラム通り実施され、盛会のうちに終了した。
  - (2) 講演会では活発な質疑応答と意見交換がなされた。
  - (3) 懇親会は、技術賞受賞のサンプル展示やデモも行われ、有意義な交流がなされた。
6. 反省事項
  - (1) 参加募集のインフォメールが、11/10配信と間際になり、開催2週間前に配信すべきであった。
  - (2) 質疑応答時間が不足する場面もあり、休憩時間等を設けて調整すべきだった。



・ 第19期神奈川ブロック総会および第23回神奈川県産官学交流会



・ 神奈川ブロック表彰式・懇親会



以上

## 2012 年度 神奈川ブロック 企業見学会

ニコン コアテクノロジーセンター プロセス機器開発部  
田中慶一

開催日 2012 年 12 月 7 日(金)  
会場 住友重機械工業株式会社 横須賀製造所

神奈川ブロックでは、住友重機械工業株式会社 横須賀製造所の見学会を企画いたしました。奮ってご参加ください。

集合 13.00 京浜急行 追浜駅 住友重機械社用バス停集合  
参加費 無料 (定員 80 名)

先着順とさせていただきますが、同一組織からの申し込みが多数となった場合は、人数制限をさせていただきます場合がありますので予めご了承ください。

### スケジュール

13:00-13:30 京急 追浜駅 住友重機械社用バス停集合 バス搭乘, 移動  
13:40-13:50 挨拶  
13:50-14:10 住友重機械の会社紹介  
14:10-15:30 工場見学 (造船工程, 精密鑄造, 等)  
15:40-16:40 講演「研究開発の事例紹介」  
16:40-17:00 質疑応答  
17:00 解散 バスにて京急 追浜駅へ移動

問合せ先 株式会社 ニコン コアテクノロジーセンター プロセス機器開発部  
田中慶一

1. 企業見学先

住友重機械工業株式会社 横須賀製造所

2. 開催日

12/7(金) PM1:30-4:45

3. 報告内容

1) 参加者

一般：51 名，運営委員：11 名

2) 会社案内

造船・建機・エネルギー事業から精密機器事業，更には環境問題にも積極的に取り組む，総合重機メーカーの醍醐味を知る内容でした。

3) 所内見学

住重フォーミング殿による精密鍛造工程，造船部門殿による造船工程を各々2 班に分かれて見学しました。前者では，主に航空機用ジェットエンジンプレードと発電用タービンプレードの，鍛造・熱処理と最終仕上げ工程までの一貫した生産ラインを見学しました。特にジェットエンジン用鍛造ブレードは日本で唯一の供給元であり，圧倒的なシェアを誇っているとのこと。一方，後者の造船工程においても，通常ではお目にかかれない複数の 10 万トン原油タンカーの造船工程が見学できました。いずれの見学においても，説明員の明確な解説と質疑応答に，統制の取れた企業の印象を持ちました。

4) 講演会

技術開発センター殿より，「分子動力学の原理とその解析事例紹介」，「建機(油圧ショベル)における鳥瞰画像処理技術の実用化」の 2 本の講演がありました。帰宅ラッシュを避けた終了時刻の前倒しのため，臨機応変に時間調整して頂きました。

5) 感謝状

到着時の記念撮影を企画頂き，また運営委員会及び忘年会の場所を提供頂き，住重殿に感謝しております。その功労とおもてなしに対して，日本機械学会関東支部神奈川ブロックより住重殿に感謝状が授与されました。

6) その他

忘年会開催の直前，夕刻 5 時 20 分頃に三陸沖で震度 5 の地震が発生し，僅かな振動を感じました。後に米国でもニュースで取り上げるほどの地震だったようです。

以上

将来の技術者育成に資する高校教員と大学教員の意見交換会（第8回）

日 時 2012年12月27日（木） 14:00～17:40

場 所 横浜国立大学 生産工学科棟 会議室

出席者 高校側 7名, 大学側 7名

プログラム

14:00～14:20 「横浜国立大学理工学部の教育」

松本 裕昭（横浜国立大学）

14:20～15:10 「ものづくり教育とスターリングエンジン」

原村 嘉彦（神奈川大学）

15:20～16:20 「科学教育と科学コンテスト」

柏木 隆良（鎌倉高校）

16:20～17:00 総合討論

内容

「横浜国立大学理工学部の教育」

機械系学科を中心に、理工学部の教育が紹介された。

「ものづくりとスターリングエンジン」

スターリングエンジンの原理と構造、現状、利用される駆動機構について紹介があり、エンジン動作の実演が行われた。

「科学教育と科学コンテスト」

最初に、中央審査委員として参加した日本学生科学賞の状況の報告があった。自分の考えを中心に進めてきた生徒と先生にやらされている感じの生徒とがおり、プレゼンを聞くとそれが明瞭にわかる。コンテストを通して生徒の成長する姿が見て取れる。文化系の活動では、普通ヒーローになれないが、コンテストによってヒーローになれるし、上手な発表を聞くとまわりの生徒もがんばりたいと思う。高校教師の指導だけでは限界があるので、大学教員のサポートをお願いしたい。審査基準（中央のもの、市町村・県レベルでは若干異なる場合がある）が紹介され、高校教員に参加が促された。

「総合討論」

コンテスト関連、大学と高校（または高校生）の接点の作り方、高校生に「工学」に関わってもらうにはどうすべきか、ものづくりができなくなっている大学生と工業高校生の連携などについて、熱心な討論がなされた。

その他

今回で一回りした（青山学院大では開催していない）ので、現在の形式での会は今回を持って最後にする旨の連絡が原村幹事からあった。

以上

# 第 18 回神奈川フォーラム

## 「明日の人材を育てるために我々に何ができるか」

URL	<a href="http://www.jsme.or.jp/kt/kanagawa/">http://www.jsme.or.jp/kt/kanagawa/</a>
企画	関東支部神奈川ブロック
共催	神奈川県産業技術センター
開催日	2013年7月26日(金)13:30~16:50
会場	神奈川県産業技術センター(海老名市下今泉 705-1)

### 趣 旨

鉱物資源と農地の乏しい我が国において一億人を超える国民の豊かさを支えるには、高い技術力を駆使した工業生産が不可欠である。これを支える人材に対する産業界からの要求は年々高まっているが、大学への入学者のレベルは横ばいあるいは低落気味で、先が見通せる状況にはない。機械化、自動化が当たり前になり、労働力の安い国々で生産された工業製品が身の回りに溢れ、一方で技術への信頼が揺らいでおり、工学の若者に対する吸引力が失われつつあることがその一因である。身の回りのものの電子化・ブラックボックス化や遊びの中のバーチャルが占める割合の増加が、若者の体験不足を引き起こしていることも無視できない。

我が国の技術発展は、「カイゼン」で象徴されるように、広い底辺から積み上げることによって達成されてきた。今後もこの型を発展させることが、我が国の社会構造から見ても妥当である。このために、若者の理科離れ・工学離れを解消することが必要であり、これまでもさまざまな活動が行われてきている。しかし理工系離れは依然として続いている。高校生に対する大学や企業を巻き込んだ教育活動と若年層に向けて行われている啓蒙・広報活動について話題提供をいただき、それを踏まえて日本機械学会やその構成員に何ができるかを議論したいと思います。

### 次 第

#### 話題提供

- (1) 高校生に対する工学への興味の喚起(横浜国立大学が進める企業技術者との協働の取組)  
森下 信(横浜国立大学教授)
- (2) SSH事業における高大連携・企業連携について  
中垣 匡(県立神奈川総合産業高等学校校長)
- (3) 女性技術者/研究者って? ---リアルな声をリケジョに届けています  
塚田 竹美((株)本田技術研究所 四輪 R&D センター)
- (4) 神奈川ブロックとその参加団体による小中高生に対する広報活動  
原村 嘉彦(神奈川大学教授)
- (5) 若手技術者に求められる能力と企業内研修  
小川 俊昭((株)IH 技術開発本部技術研修所所長)

#### 総合討論

## 第 18 回神奈川フォーラム開催報告

主催・企画	関東支部神奈川ブロック
共催	神奈川県産業技術センター
開催日	2013年7月26日(金)13:30~16:50
会場	神奈川県産業技術センター(海老名市下今泉 705-1)
テーマ	「明日の人材を育てるために我々に何ができるか」

開催趣旨：鉱物資源と農地の乏しい我が国において一億人を超える国民の豊かさを支えるには、高い技術力を駆使した工業生産が不可欠である。これを支える人材に対する産業界からの要求は年々高まっているが、大学への入学者のレベルは横ばいないしは低落気味で、先が見通せる状況にはない。機械化、自動化が当たり前になり、労働力の安い国々で生産された工業製品が身の回りに溢れ、一方で技術への信頼が揺らいでおり、工学の若者に対する吸引力が失われつつあることがその一因である。身の回りのものの電子化・ブラックボックス化や遊びの中のバーチャルが占める割合の増加が、若者の体験不足を引き起こしていることも無視できない。

我が国の技術発展は、「カイゼン」で象徴されるように、広い底辺から積み上げることによって達成されてきた。今後もこの型を発展させることが、我が国の社会構造から見ても妥当である。このために、若者の理科離れ・工学離れを解消することが必要であり、これまでもさまざまな活動が行われてきている。しかし理工系離れは依然として続いている。高校生に対する大学や企業を巻き込んだ教育活動と若年層に向けて行われている啓蒙・広報活動について話題提供をいただき、それを踏まえて日本機械学会やその構成員に何ができるかを議論する場を共有することを目的にフォーラムを開催した。

### プログラム：

- (1) 高校生に対する工学への興味の喚起（横浜国立大学で進める企業技術者との協働の取組）  
森下 信（横浜国立大学教授）
- (2) SSH事業における高大連携・企業連携について  
中垣 匡（県立神奈川総合産業高等学校校長）
- (3) 女性技術者/研究者って？…リアルな声をリケジョに届けています  
塚田 竹美（(株)本田技術研究所 四輪 R&D センター）
- (4) 神奈川ブロックとその参加団体による小中高生に対する広報活動  
原村 嘉彦（神奈川大学教授）
- (5) 若手技術者に求められる能力と企業内研修  
小川 俊昭（(株)IHI 技術開発本部技術研修所所長）

### 総合討論

参加人数：33名

総括：大学、高校、女性技術者、学会、企業それぞれからのご講演いただき、また最後の総合討論まで活発な質疑応答がなされた。教育というテーマでは、結論をまとめることは難しいものの、さまざまな立場からのご講演いただいたことにより、各参加者には有意義な意見交換であったと思われる。

日本機械学会「機械の日」イベント  
神奈川ブロック20周年記念  
小中高生のための特別見学会  
「迫力満点の製鉄工場の見学と海からの港湾施設の見学」

企 画 日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック

神奈川ブロックでは、小中高生の皆様に機械やエンジニアリングに興味を持っていただくことを目的に「小中高生のための見学会」を機械の日に合わせて毎年開催しています。今年は神奈川ブロック20周年記念として「小中高校生のための特別見学会」を企画しました。今年が目玉は、巨大な熱い鉄の塊がどんどん薄くなっていく、迫力満点の製鉄工場の見学と、船からコンテナの積み下ろしに使うガントリクレーンやバナナ埠頭など、普段見ることのできない港湾施設の船上からの見学（**荒天の場合は中止**）と共に、活躍している女性技術者による講演会も開催します。普段は見ることのできない製鉄所の厚板工場、港湾施設などの見学とともに、女性技術者から生の話も聞くことができ、夏休みの1日をお楽しみいただけます。奮ってのご参加をお待ちしております。なお、小学生には保護者の方が必ず同伴して下さい。また、工場内を歩きますので、移動しやすい服装ならびに履物（運動靴等）でご参加下さい。

開催日 2013年7月25日(木) 9.00～16.20

スケジュール

- 09.00 鶴見駅東口バスロータリ先 集合
- 09.00-10.00 バスにて JFE スチール東日本製鉄所 へ移動
- 10.00-12.00 バスを利用して JFE スチール東日本製鉄所の見学  
(徒歩による工場内の見学もあります。)
- URL <http://www.jfe-steel.co.jp/works/east/keihin/index.html>
- 12.00-12.30 バスにて日本丸メモリアルパーク へ移動
- 12.30-13.20 各自昼食（近くに飲食店は多くありますが、昼食時間が短いのでお弁当を持参していただいたほうがよいと思われます。天気が良ければ、芝生の上でお弁当食べることも可能です。）
- 13.20-14.20 女性技術者による講演会
- 14.40-16.20 船上から港湾施設の見学（荒天の場合は中止）  
ピア日本丸→大栈橋→ベイブリッジ→本牧ふ頭（ガントリクレーンによるコンテナの積み下ろし）→シーバース（停泊していれば巨大タンカー）→鶴見つばさ橋→京浜運河→バナナ埠頭→ピア象の鼻
- 16.20 頃 ピア象の鼻にて解散  
(明治時代に使用されていた線路の転車台を見ることができます。)

集合場所 鶴見駅東口バスターミナル先  
集合時刻 9時  
参加費 小・中・高学生 500円（ジュニア会友は無料）、  
保護者 1000円（本会会員は無料）  
定員 40名(保護者の方を含みます) ※先着順・ジュニア会友優先枠有

#### 参加申込方法

電子メールにて、7月14日（日）までにお申し込み下さい。

件名を「小中高生のための見学会参加申込」とし、以下の必要事項を記入して  
[kanagawa@jsme.or.jp](mailto:kanagawa@jsme.or.jp) までお送り下さい。

- ①氏名，②性別，③学校名，④学年，⑤連絡先（電話，E-mail，FAX），
- ⑥日本機械学会のジュニア会友資格の有無，⑦保護者が参加される場合 保護者氏名と参加者との続柄，日本機械学会会員資格の有無。

\*参加申し込みされた方には1週間以内に申し込み受理のメールを送信いたします。  
返信メールが届かない場合は、お手数ですが、再度確認のメールをお送り下さい。

#### 問合せ先

川島 豪（神奈川工科大学 工学部 機械工学科）

以 上



**日本機械学会関東支部神奈川ブロック  
小中高校生のための特別見学会  
「迫力満点の製鉄工場と海からの港湾施設の見学」  
実施報告書**

- 1 実施日 2013年7月25日(木)
- 2 実施場所 JFEスチール東日本製鉄所、日本丸訓練センター、および横浜港
- 3 参加者数 51名 (大人21人、高校生 1人、中学生 7人、小学生22人)  
講師:秋葉敏克氏・國眼陽子氏・豊田希氏 の計3名  
スタッフ:松本ブロック長・荒木幹事・村田先生、川島 の計4名  
総計 58人

4 実施概要

9:00 参加者集合(鶴見駅東口)  
JFEスチール東日本製鉄所にバス移動  
10:00 JFEスチール東日本製鉄所見学  
12:00 日本丸訓練センターにバス移動  
12:50 自由昼食  
13:20 女性技術者による講演会  
14:20 ピア日本丸より乗船  
16:00 ピア象の鼻にて下船  
現地解散

4 収支報告

(1) 支出

・貸し切りバス代	小計	45,000円
・日本丸訓練センター教室利用料金およびプロジェクター料金 教室利用料金(@1500円×2時間) プロジェクター利用料金	小計	8,000円
・乗船料(チャーター)	小計	80,000円
・アルバイト代 内訳 ?人 費用 5,000円/人	小計	0円
・委員交通費 内訳 0人 費用 1,000円/人	小計	0円
	総計	133,000円

(2) 参加費

内訳	大人 @1,000円×10人	10,000円
	小・中・高: @500円×12人	6,000円
	総計	16,000円

(3) 機械学会よりの補助金

内訳	133,000円 - 16,000円 = 補助金(予算:100,000円)	
	補助金	117,000円

## 5 あとがき

今年の見学会は、神奈川ブロック20周年記念ということで貸し切りバスを利用した製鉄所の工場見学、女性技術者による講演会、船からの港湾施設の見学と盛りだくさんの内容にした。その結果、関東支部の会員およびジュニア会友向けにインフォメーションメールを送信することで締切日を待たずに申し込み者が定員に達した。また、開催日を夏休みが始まった7月下旬にしたことで欠席者がいなかった。募集時期が夏休みの計画を立てる時期に合ったことも多くの申し込みをいただいた要因と考える。なお、小中高生の参加者30名のうちジュニア会友は18名であり、参加された家族のうち誰かが学会会員もしくはジュニア会友であった。朝方は雨交じりの天気であったが乗船時には薄曇りまで回復し、多くの参加者に満足いただけたものと思う。また、製鉄所の工場見学ということもあり、女子小中学生の参加者が8名と例年より少ない割合であった。最後に、今回参加していただいた小中高生が日頃目にしない製鉄所の迫力を感じ、女性エンジニアの講演によりエンジニアの仕事を理解し、鉄で作られた構造物が横浜港に多くあることを実感してもらえれば幸いである。少なくともこのうち1つでも印象に残り、社会をよくする夢を持ち、高校時代の物理を乗り越えてメカニカルエンジニアの道に進んでくれることを期待したい。

以上



## 「小中学生工作教室」～スターリングエンジンの製作～（第1回）

企 画	関東支部神奈川ブロック
開催日	2013年8月2日（金）
会 場	関東学院大学金沢八景キャンパス（横浜市金沢区六浦東 1-50-1）
後 援	（独）宇宙航空研究開発機構（JAXA）

機械のおもしろさ、ものづくりの楽しさを味わっていただくため、小中学生工作教室を企画いたしました。製作する模型エンジンは、JAXAで開発され、お湯を入れたコップの上でも動作します。是非、夏休みの自由研究に活用ください。なお、小学生の参加の場合には保護者の付添いをお願いします。

1) 時間： 午前の部 10.30～12.00, 午後の部 13.30～15.00

2) 定員： 各部 20名（小学3年生～中学生）

（申込み多数の場合は抽選になります）

3) 申込方法 関東学院大学工学部機械工学科 辻森まで、E-mailにてお申し込みください。（7月20日必着）

表題に「工作教室参加 申込み」と記載し、本文中に、希望する回（午前または午後）、参加者氏名、学校名、学年、住所、電話番号を記載してください。

\*参加申し込みをされた方には数日中に必ず申込み受理の返信をいたします。返信がない場合には、お手数ですが、もう一度確認メールを送付ください。

4) 参加費 無料

2013.8.12

事業報告書（機械工学振興事業）

関東支部神奈川ブロック ブロック長 松本裕昭（横浜国立大学）  
行事担当 辻森淳（関東学院大学）

「行事名」：小中学生工作教室～スターリングエンジンの製作～

「開催日」：2013年8月2日（金）

「会場」：関東学院大学金沢八景キャンパス（横浜市金沢区六浦東 1-50-1）

「内容」：JAXA（宇宙航空研究開発機構）で開発された模型スターリングエンジンのキットを組み立てる工作教室を実施した。工作教室では，JAXA の紹介につづき，まず，完成品のスターリングエンジンを動かし，参加した子どもたちにスターリングエンジンの作動原理や内部構造について想像してもらった。その後，JAXA の講師より，スターリングエンジンの仕組みの説明があった。そして，実際に模型スターリングエンジンを組み立て，動作確認をした。講師は，JAXA の星野健氏，吉原正一氏にお願いした。工作自体は，はさみとテープだけででき，小学3年生でも十分組み立て可能だが，参加した中学生でも十分楽しめる内容であった。

「参加人数」：午前の部：子供 15 人（保護者 13 人）：合計 28 人  
午後の部：子供 16 人（保護者 8 人）：合計 24 人







## 「小中学生工作教室」～スターリングエンジンの製作～（第2回）

企 画 関東支部神奈川ブロック  
開催日 2013年8月4日（日）  
会 場 川崎市産業振興会館（川崎市幸区堀川町66-20）  
共 催 （公財）川崎市産業振興財団  
後 援 （独）宇宙航空研究開発機構（JAXA）

日本機械学会では、未来の科学者・技術者を応援する様々な行事を行っています。今回、8月に小中学生を対象に工作教室を開催します。

製作する模型エンジンは、JAXAで開発されたものです。部品を組み立てると、かわいいエンジンができ上がり、お湯を入れたコップの上でピストンの先に付けたおもりが上下に動きます。是非、夏休みの体験学習にご活用ください。

- 1) 時間： 午前の部 10.30～12.00, 午後の部 13.30～15.00
- 2) 定員： 各部 20名（神奈川県内の小学3年生～中学生）  
（申込み多数の場合は抽選になります）
- 3) 申込方法 慶應義塾大学理工学部機械工学科 杉浦まで、  
E-mailにてお申し込みください。（7月22日必着）  
表題に「工作教室参加 申込み」と記載し、本文中に、希望する回（午前または午後）、参加者氏名、学校名、学年、住所、電話番号を記載してください。  
\*参加申し込みをされた方には数日中に必ず申込み受理の返信をいたします。返信がない場合には、お手数ですが、もう一度確認メールを送付ください。

- 4) 参加費 無料

事業報告書（機械工学振興事業）

関東支部神奈川ブロック ブロック長 松本裕昭（横浜国立大学）  
行事担当 杉浦壽彦（慶應義塾大学）

「行事名」：小中学生工作教室～スターリングエンジンの製作～

「開催日」：2013年8月4日（日）

「会場」：川崎市産業振興会館（川崎市幸区堀川町 66-20）

「内容」：JAXA（宇宙航空研究開発機構）で開発された模型スターリングエンジンのキットを組み立てる工作教室を実施した。工作教室では、JAXAの紹介につづき、まず、完成品のスターリングエンジンを動かし、参加した子どもたちにスターリングエンジンの作動原理や内部構造について想像してもらった。その後、JAXAの講師より、スターリングエンジンの仕組みの説明があった。そして、実際に模型スターリングエンジンを組み立て、動作確認をした。講師は、JAXAの星野健氏、吉原正一氏にお願いした。工作自体は、はさみとテープだけででき、小学3年生でも十分組み立て可能だが、参加した中学生でも十分楽しめる内容であった。なお、本行事は、川崎市産業振興財団による共催とJAXAによる後援のもと、開催されました。

「参加人数」：午前の部：子供 23 人（保護者 25 人）：合計 48 人  
午後の部：子供 20 人（保護者 20 人）：合計 40 人







日本機械学会関東支部 神奈川ブロック 主催  
学生会夏期研修会

[テーマ] 株式会社 IHI 技術開発本部見学および若手技術者と機械系学生の交流会

[開催日] 2013年9月17日(火)

[会場] 株式会社 IHI 技術開発本部

〒235-8501 神奈川県横浜市磯子区新中原町1

[http://www.ihico.jp/ihico/company/offices/yokohama\\_engineering.html](http://www.ihico.jp/ihico/company/offices/yokohama_engineering.html)

[趣旨] 株式会社 IHI 技術開発本部において技術開発の現場を見学するとともに、技術内容に関するご講演をいただきます。さらに、電力中央研究所、ニコン、日産自動車、ネポンの各社の技術者の方々から、自らの経験を踏まえての、学生へ向けたメッセージを講演いただきます。また、見学会、講演会終了後に、講演者を囲んでざっくばらんに話ができる懇親会を予定しております。社会に出る前の学生の皆さんが業務の現場とその声を直接見聞きして、仕事への具体的なイメージをつかむ機会として、また、神奈川ブロック学生の交流および親睦のために、ぜひご参加ください。

[スケジュール]

13:30-14:30 技術講演「電気抵抗トモグラフィによる容器内可視化技術の開発」

株式会社 IHI 基盤技術研究所 熱流体研究部 一条 憲明 氏

14:30-15:30 技術開発本部見学（技術開発本部 展示コーナー、温度成層風洞、二塔式ガス化炉）

15:30-17:30 講演「若手技術者から機械系学生へのメッセージ」

一般財団法人 電力中央研究所 エネルギー技術研究所 高効率発電領域 濱田 博之 氏

講演テーマ 石炭ガス化複合発電（IGCC）に関して

株式会社ニコンガラス事業室 品質保証室 岡部 知行 氏

講演テーマ 石英ガラスに関して

日産自動車株式会社 総合研究所 EV システム研究所 佐竹 正光 氏

ネポン株式会社 開発本部 伊沢 健一 氏

18:00-20:00 若手技術者を囲んで懇親会（新杉田駅付近）

[集合] 13:00 IHI 横浜事業所正門前（新杉田駅より徒歩5分）

（新中原南側交差点）

[参加費] 懇親会費用として一人当たり¥2,000（当日集金します）

[

[問い合わせ先]

東海大学 工学部 動力機械工学科 森下 達哉

2013.10.1

事業報告書（学生会夏期研修会）

関東支部神奈川ブロック ブロック長 松本裕昭（横浜国立大学）  
行事担当 森下達哉（東海大学）

「行事名」：株式会社 IHI 技術開発本部見学および若手技術者と機械系学生の交流会

「開催日」：2013 年 9 月 17 日（火）

「会場」：株式会社 IHI 技術開発本部（神奈川県横浜市磯子区新中原町 1）

「内容」：

（株）IHI 技術開発本部を会場としてご提供頂いて、若手技術者による講演および見学会を中心とした技術者と機械系学生の交流会を実施した。昨年度同様の企画を行い大変好評であったため、ほぼ同様の企画内容で実施した。

まず、IHI・一条氏にご講演頂いた。今、社会で必要とされている技術に関する研究の内容について紹介があり、研究成果が実際に社会で役に立っている様子を伺うことができ大変興味深いものであった。その後、IHI 事業所内を見学させて頂いた。研修会後のアンケートでは、普段見られない研究用施設を見ることができ、大変貴重な経験となったという回答が複数寄せられた。つづいて、電力中央研究所・濱田氏、ニコン・岡部氏、日産自動車・佐竹氏、ネポン・伊沢氏らから、研究内容や学生へのアドバイスについてご講演を頂いた。内容も多岐にわたっており、普段の研究発表会等では経験できない講演会となった。また、講師の方々から自らの経験を踏まえてのアドバイスが学生にとっては大変有意義であったようである。

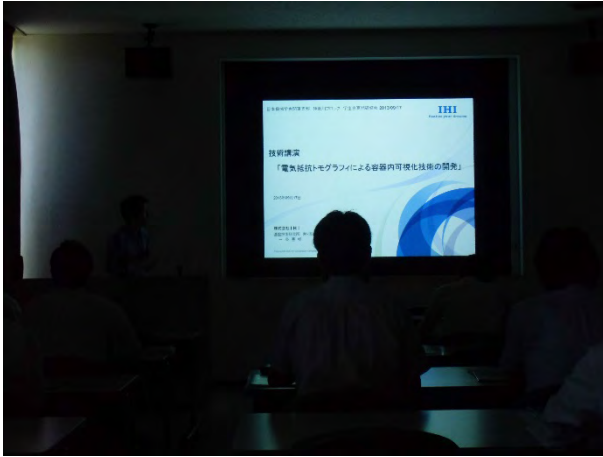
講演会後には、講師の方々を学生が囲む形式の懇親会を開催した。懇親会では、講演会の際に生じた疑問や就職活動に関する疑問などを講師の方々に積極的に質問する姿が見られた。講師の方々もとても熱心に学生の質問に答えて下さっていたのが印象的であった。学生から比較的多く寄せられた感想を以下に記す。

- ・就職活動、研究内容、学生時代の過ごし方など具体的な話を聞くことができた
- ・企業の方や他大学の学生との交流では勉強になることが多かった
- ・懇親会は企業の方々を気軽に接することのできる場として非常に重要な機会
- ・このような機会があればまた参加したい
- ・研究設備に加えて生産設備を見学したい

末筆ながら、担当者の不手際により準備期間が短いながらも多大なご協力を頂きました。IHI、電力中央研究所、ニコン、日産自動車、ネポンの各社の関係各位に心より感謝申し上げます。

「参加人数」：大学院修士課程 1 年生 12 名

講師 5 名、運営委員 6 名 合計 23 名



IHI 一条氏の技術講演



IHI 会議室内での集合写真



懇親会では講師を学生が囲んだ



懇親会場での集合写真

## 第 20 期ブロック表彰

### 功績賞

田中 慶一 株式会社ニコン  
古市 浩朗 株式会社日立製作所  
山口 方士 株式会社 IHI

### 感謝状

住友重機械工業株式会社 横須賀製造所  
神奈川県産業技術センター  
独立行政法人 宇宙航空研究開発機構  
関東学院大学  
川崎市産業振興会館  
株式会社 IHI 技術開発本部  
JFE スチール株式会社東日本製鉄所  
日本機械学会 LAJ 委員会

### 学生奨励賞

秋山 朋宏 神奈川工科大学大学院前期博士課程 2 年  
河村 拓実 横浜国立大学大学院工学府博士課程前期 2 年  
鈴木 貴弘 横浜国立大学大学院工学府博士課程前期 2 年

### 20 周年記念特別貢献賞

三澤 章博 神奈川工科大学工学部機械工学科教授  
渡辺 和徳 電力中央研究所  
森山 裕幸 東海大学工学部動力機械工学科教授  
押野谷 康雄 東海大学工学部動力機械工学科教授  
金田 徹 関東学院大学理工学部教授  
大野 英隆 湘南工科大学工学部機械工学科准教授  
中西 裕二 神奈川大学工学部機械工学科教授  
大宮 正毅 慶応義塾大学理工学研究科総合デザイン工学専攻准教授  
椎葉 太一 明治大学理工学部機械工学科准教授  
小林 健一 明治大学理工学部機械工学科准教授

# 平成24年度学業優良奨励賞生徒推薦(日本機械学会賞)

2013.1.23

学 校 名	校長氏名	学校所在地	学校電話番号	課程	表彰推薦者 氏名	進路先(学校・企業名)	卒業式予定日
1 県立川崎工科高等学校	棟方 克夫	川崎市中原区上平間1700-7	044-511-0114	全日	中谷 駿吾	関東学院大学	3月1日(金)
2 県立向の岡工業高等学校	森 匠志	川崎市多摩区堰1-28-1	044-833-5221	全日 定時	鈴木 克也 なし	トヨタ東京自動車大学校 —	3月1日(金) —
3 県立神奈川工業高等学校	伊藤 武志	横浜市神奈川区平川町19-1	045-491-9443	全日 定時	丸山 浩平 小俣 司	東京電機大学 陸上自衛隊	3月1日(金) 3月1日(金)
4 県立磯子工業高等学校	後藤 博史	横浜市磯子区森5-24-1	045-761-0251	全日 定時	田中 啓樹 なし	関東学院大学 —	3月1日(金) —
5 県立商工高等学校	坂本 和彦	横浜市保土ヶ谷区今井町743	045-353-0591	全日	藤原 丈	神奈川大学	3月1日(金)
6 県立横須賀工業高等学校	木谷 葉太郎	横須賀市公郷町4-10	046-851-2122	全日	川島 駿	日本発条(株)	3月1日(金)
7 県立藤沢工科高等学校	木南 郁男	藤沢市今田744	0466-43-3402	全日	近藤 祐司	県立産業技術短期大学校	3月1日(金)
8 県立神奈川総合産業高等学校	中垣 匡	相模原市南区文京1-11-1	042-742-6111	全日 定時	小澤 奎也 赤上 美春	日産横浜自動車大学校 未定	3月15日(金) 3月7日(木)
9 県立平塚工科高等学校	反町 聡之	平塚市黒部丘12-7	0463-31-0417	全日	久保田 諒	(株)小松製作所	3月1日(金)
10 県立小田原城北工業高等学校	真壁 広道	小田原市栢山200	0465-36-8586	全日 定時	橋本 雄太郎 神山 陽介	(有)橋本工業 しいの食品(株)	3月1日(金) 3月1日(金)
11 市立川崎総合科学高等学校	市野 典明	川崎市幸区小向仲野町5-1	044-511-7336	全日 定時	岡 聖史 木村 巧弥	GENESYSTEM ホンダ・ウイング・イズ本店	3月2日(土) 3月2日(土)
12 市立横須賀総合高等学校	外川 昌宏	横須賀市久里浜6-1-1	046-833-4111	全日 定時	目黒 豪 岡部 晏	東京観光専門学校 県立産業技術短期大学校	3月1日(金) 3月1日(金)
13 横浜創学館高等学校	井上 隆	横浜市金沢区六浦東1-43-1	045-781-0631	全日	浜田 智宏	(株)東急フアインテック	3月2日(土)
14 三浦学苑高等学校	下里 矩生	横須賀市衣笠栄町3-80	046-852-0284	全日	本間 智宏	(株)品川チックス	3月1日(金)
15 県立海洋科学高等学校	水木 久雄	横須賀市長坂1-2-1	046-856-3128	全日	藤田 泰裕	東京海洋大学	3月4日(月)